

地点	No.

東京都中央区、文京区、江東区、品川区、大田区、世田谷区、
中野区、豊島区、荒川区、板橋区、練馬区、江戸川区、立川市、
青梅市、町田市、小平市、福生市、稲城市のかたへ

地震に関するアンケート調査ご協力をお願い

平成22年10月

拝啓 時下、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

この調査は、地震調査研究推進本部（以下「地震本部」）がこれまでに行ってきた地震調査研究の成果が、どれだけ国民に浸透しており、地震に関する正しい理解を得られるようにするためにはいかにすべきかなどを把握することを目的として、文部科学省研究開発局地震・防災研究課が実施する全国調査です。

この調査に際し、無作為に全国の16歳以上の方を選ばせていただいた結果、まことに勝手ながら、あなた様に調査をお願いすることになりました。

この調査は、あなた様の率直なご意見やご要望などをお聞きするもので、ご回答いただいたご意見につきましては、すべて統計的に処理いたしますので、お名前やご住所が公表されることはありません。また、個人情報の保護についても、万全の保護策を講じます。

本調査の趣旨をご理解いただき、なにとぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

<調査実施主体>

文部科学省研究開発局地震・防災研究課
地震調査研究推進本部

<本調査の問い合わせ先>

地震本部の成果の浸透度等調査事務局：防災・情報研究所内

担当者：坂本・深田・高梨・柴

TEL. & FAX. : 03-3249-7298 (平日9:00~18:00)

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-7 日本橋エビスビル7F

— ご記入についてのお願い —

- ・ご記入は、16歳以上のかたで、調査員に指名されたかたにお願いします。
- ・ご回答は、番号の順に、あてはまる番号を、○で囲んでください。
- ・「その他」に○をつけた場合は、() 欄に具体的にお答えをお書きください。
- ・回答に迷う場合は、あなたのお気持ち、お考えにできるだけ近いものに○をつけてください。
- ・ご記入にあたっては、鉛筆をご使用ください。
- ・ご記入が終わりましたら、恐れ入りますが、見落としや書き漏らしがないか、もう一度ご確認ください。

<調査票の回収予定日時>

月 日 時頃、調査票の回収にお伺いいたします。

*それまでにご記入いただきますようお願いいたします。

担当者 _____

問1 あなたは、地震や地震防災対策にどの程度関心を持っていますか。ひとつだけ○をつけてください。

1. 非常に関心がある 2. まあ関心がある 3. あまり関心がない 4. まったく関心がない

問2 あなたは、お住まいの地域で大地震が起きるかもしれないという不安を、どの程度感じていますか。ひとつだけ○をつけてください。

1. 非常に不安 2. やや不安 3. あまり不安はない 4. まったく不安はない

問3 あなたは、お住まいの地域で、大地震が起きると思いますか。

問 3-1 今後 10 年くらいのうちに大地震が起きると思いますか。ひとつだけ○をつけてください。

1. 必ず起きると思う 3. 起きる可能性は低いと思う
2. 起きる可能性は高いと思う 4. 絶対に起きないと思う

問 3-2 今後 30 年くらいのうちに大地震が起きると思いますか。ひとつだけ○をつけてください。

1. 必ず起きると思う _____
2. 起きる可能性は高いと思う _____ → 付問 3-2-1 今後 30 年くらいのうちに、お住まいの地域で大地震が起きる確率は何パーセントくらいだと思いますか。
3. 起きる可能性は低いと思う _____
4. 絶対に起きないと思う _____
1. 大地震が起きる確率は約 _____ %
2. 大地震が起きる確率はわからない

問4 あなたは、以下にあげた事柄について知っていますか。ご存知のことにいくつでも○をつけてください。

1. 地震の「震度」と「マグニチュード」の違い
2. 震度 6 弱以上の揺れはどれくらいか
3. 活断層とは何か
4. 海溝型地震とは何か
5. 津波と高波の違い
6. 長周期地震動とは何か
7. 緊急地震速報とは何か
8. マグニチュード 8 クラスの海溝型地震が起きる間隔は、100～200 年のことが多い
9. 同じ活断層が地震をくり返す間隔は、短いものでも 1,000 年くらい

問5 あなたは、地震や地震防災対策に関する知識をどこから入手していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1. テレビ 9. 地震や災害に関する専門書
2. ラジオ 10. 専門家による講演・講座などから
3. 新聞 11. 家族の話
4. 雑誌 12. 友人・知人の話
5. 都道府県や市区町村の広報誌 13. 町内会・自治会、自主防災組織などの人から
6. ポスターやリーフレットなど 14. 消防署や消防団の人から
7. 国や地方自治体のホームページ 15. 学校の授業で
8. その他のホームページ 16. その他（具体的に： _____）

問6 あなたのお宅では、大地震が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。以下にあげた中で、あてはまるものいくつか○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 風呂の水をためおきしている |
| 2. 自宅内に消火器を置くなど消火活動を行うための準備をしている |
| 3. 家具や冷蔵庫などの転倒防止をしている |
| 4. 自分の家は耐震性がある建物にしている |
| 5. 食料や飲料水を準備している |
| 6. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している |
| 7. 非常持ち出し品の準備をしている |
| 8. 貴重品などをすぐに持ち出せるようにしている |
| 9. 家族で防災について話し合っている |
| 10. 近くの学校や公園など避難する場所を決めている |
| 11. 防災訓練に参加している |
| 12. 地震被害を補償する地震保険、農協建物更正共済、住宅再建共済などに加入している |
| 13. その他（具体的に： _____） |
| 14. 特に対策はとっていない |

問7 あなたのお宅では、どのようなきっかけで地震防災対策を始めることが多いですか。あてはまるものいくつか○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 実際に大きな地震が起きて、被害が報道されることがきっかけになって |
| 2. 住んでいる地域で大地震が起きる可能性があるという報道や話を聞いて |
| 3. 地震防災訓練に参加したことがきっかけになって |
| 4. 近所の人や友人などが地震防災対策をやっていることを知って |
| 5. 近所の人や友人などに勧められて |
| 6. 消防や市区町村、都道府県などから勧められて |
| 7. 自宅の新築や増改築・転居などがきっかけになって |
| 8. 過去に地震災害や風水害、火災等で被災した経験から |
| 9. 家族に熱心な人がいて |
| 10. その他（具体的に： _____） |

問8 都道府県や市区町村では、大地震が起きたときに予想される震度や建物倒壊・火災・崖崩れなどの被害、被災時の避難場所や避難路などをわかりやすく示した地図（地震防災マップや地震ハザードマップと呼ばれています）を作成・配布しているところがあります。あなたは、このような地図を見たことがありますか。あてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 家にあり、貼ってある | 4. 見たことはないが、あることは知っている |
| 2. 家にあるが、貼っていない | 5. 自分が住んでいる所では作られていない |
| 3. 家にはないが、見たことがある | 6. まったく知らなかった |

問9 大地震が起きたとき、あなたが現在お住まいの家はどのくらいの被害を受けると思いますか。また、あなたご自身やご家族は無事だと思いますか。

問9-1 あなたがお住まいの家について（あてはまるものにひとつだけ○）

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 被害はほとんどないと思う | 4. 家がペしゃんこになると思う |
| 2. 家の一部が壊れる程度でそのまま住めると思う | 5. まったく予想がつかない |
| 3. 家のかなりの部分が壊れ、そのままでは住めないと思う | |

問 9-2 あなたご自身やご家族について(あてはまるものにひとつだけ○)

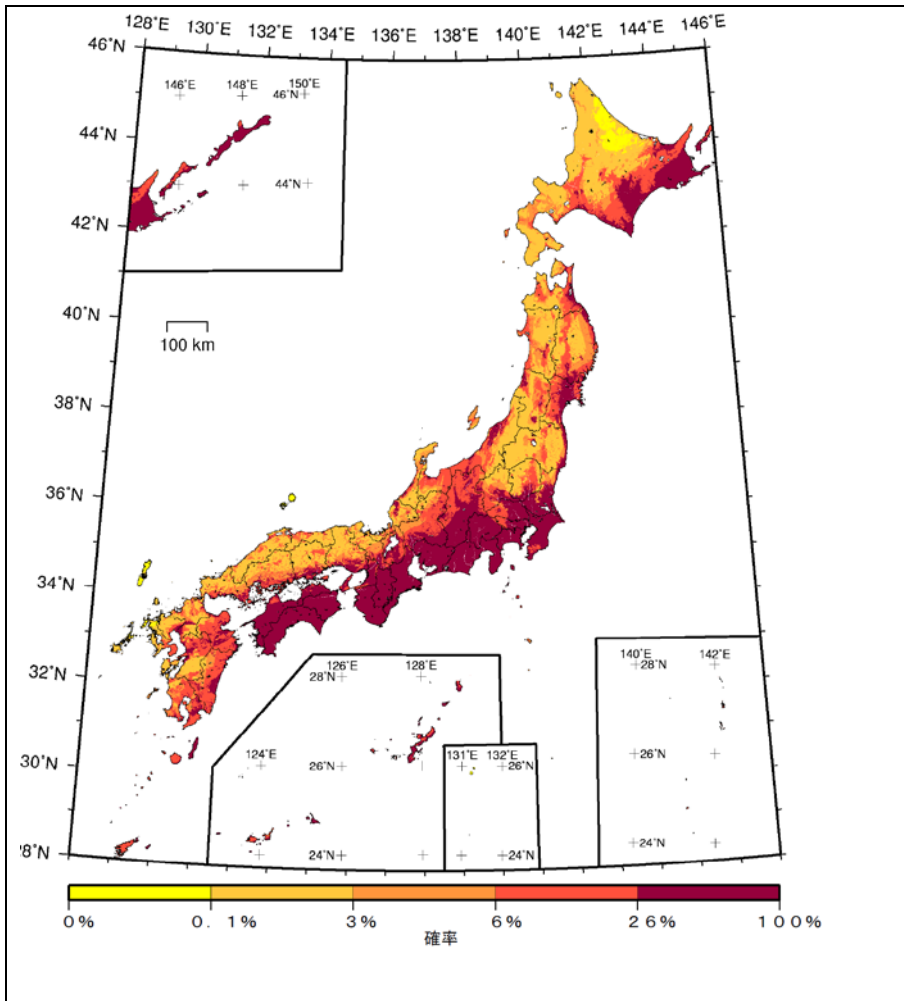
- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 全員無事だと思う | 4. 死者が出るかもしれない |
| 2. 軽いけが人が出るかもしれない | 5. その他の被害 (具体的に:) |
| 3. 大けがをする家族が出るかもしれない | 6. まったく予想がつかない |

現在の科学技術では、大地震がいつ発生するのか、予知することは困難です。その代わりに、詳しい調査を行えば、一定の期間内(たとえば、今後 30 年以内)に地震によって強い揺れに見舞われる可能性が地域によってどのくらい差があるのか知ることができます。政府の地震調査研究推進本部では、全国を対象に地震によって強い揺れに見舞われる可能性の地域差を示した地図(これを「確率論的地震動予測地図」といいます)を作成し、公表しています。

問 10 次の図1と図2が「確率論的地震動予測地図」です。あなたは、この「確率論的地震動予測地図」をご覧になったことがありますか。あてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

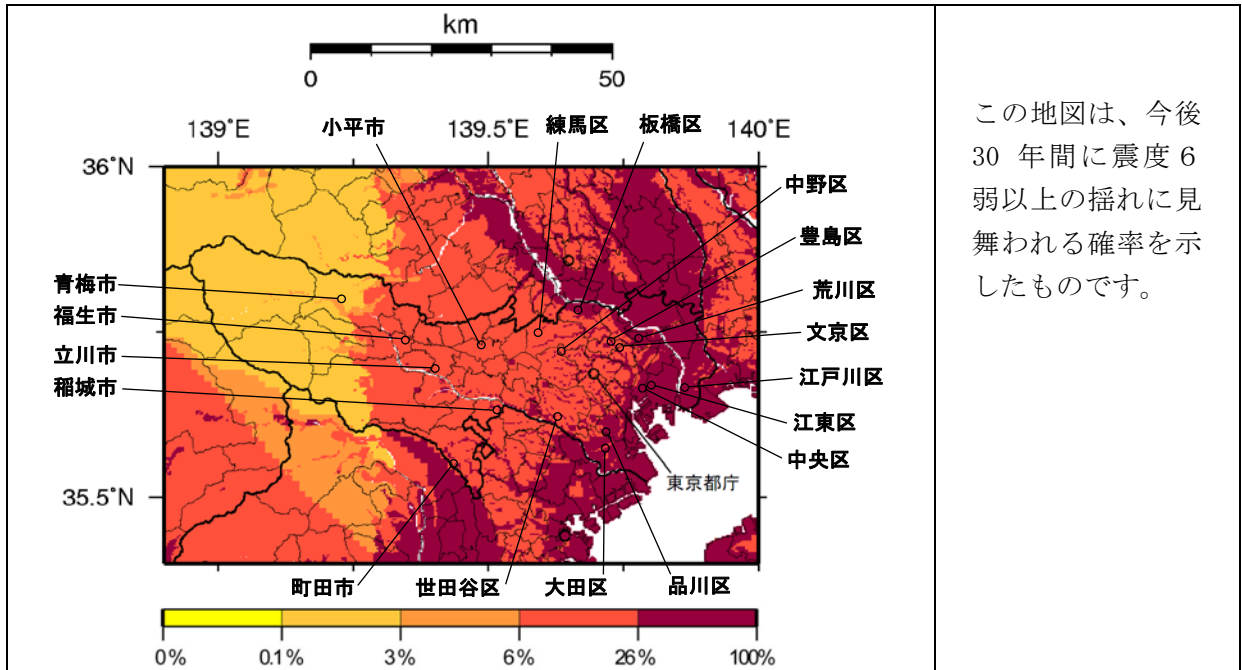
- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 見たことがある | |
| 2. 記憶が定かではないがこのような地図を見た気がする | → 問 10-1 に進んでください |
| 3. 地図があると聞いたことはあるが、見たことはなかった | |
| 4. 地図を見たことも聞いたこともなかった | → 問 11 に進んでください |

図1 確率論的地震動予測地図(全国版)



この地図は、今後 30 年間に震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率を示したものです。
(図 2 はお住まいの都道府県について拡大したものです。)

図2 確率論的地震動予測地図(東京都版)



この地図は、今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率を示したものです。

問 10-1 (問 10 で「1.見たことがある」、「2. 記憶が定かではないがこのような地図を見た気がする」、または「3. 地図があると聞いたことはあるが、見たことはなかった」と答えた方にお伺いします。) それは、どこでご覧に(お聞きに)になりましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. テレビ | 9. 地震や災害に関する専門書 |
| 2. ラジオ | 10. 専門家による講演・講座などから |
| 3. 新聞 | 11. 家族の話 |
| 4. 雑誌 | 12. 友人・知人の話 |
| 5. 都道府県や市区町村の広報誌 | 13. 町内会・自治会、自主防災組織などの人から |
| 6. ポスターやリーフレットなど | 14. 消防署や消防団の人から |
| 7. 国や地方自治体のホームページ | 15. 学校の授業で |
| 8. その他のホームページ | 16. その他 (具体的に: _____) |

問 11 (全員お答えください。)あなたは、この「確率論的地震動予測地図」(図1と図2)をご覧になって、どのようにお感じになりましたか。

問 11-1 あなたが住んでいる地域が地震の強い揺れに見舞われる確率は(あてはまるものひとつだけ○)。

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 高い | 2. やや高い | 3. やや低い | 4. 低い |
|-------|---------|---------|-------|

問 11-2 あなたが住んでいる地域で地震の切迫性は(あてはまるものにひとつだけ○)。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 非常に切迫している | 3. あまり切迫していない |
| 2. 切迫している | 4. まったく切迫していない |

問 11-3 この「確率論的地震動予測地図」はわかりやすいですか、それともわかりにくいですか。あてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------------------|
| 1. 非常にわかりやすい | 3. 少しわかりにくい | 付問 わかりにくい理由は何ですか
() |
| 2. まあわかりやすい | 4. 非常にわかりにくい | |

問 11-4 (お渡しした大きなポスターをご覧ください。)この確率論的地震動予測地図に関して、以下のような意見があります。この中であなたご自身の意見に近いものいくつかを○をつけてください。

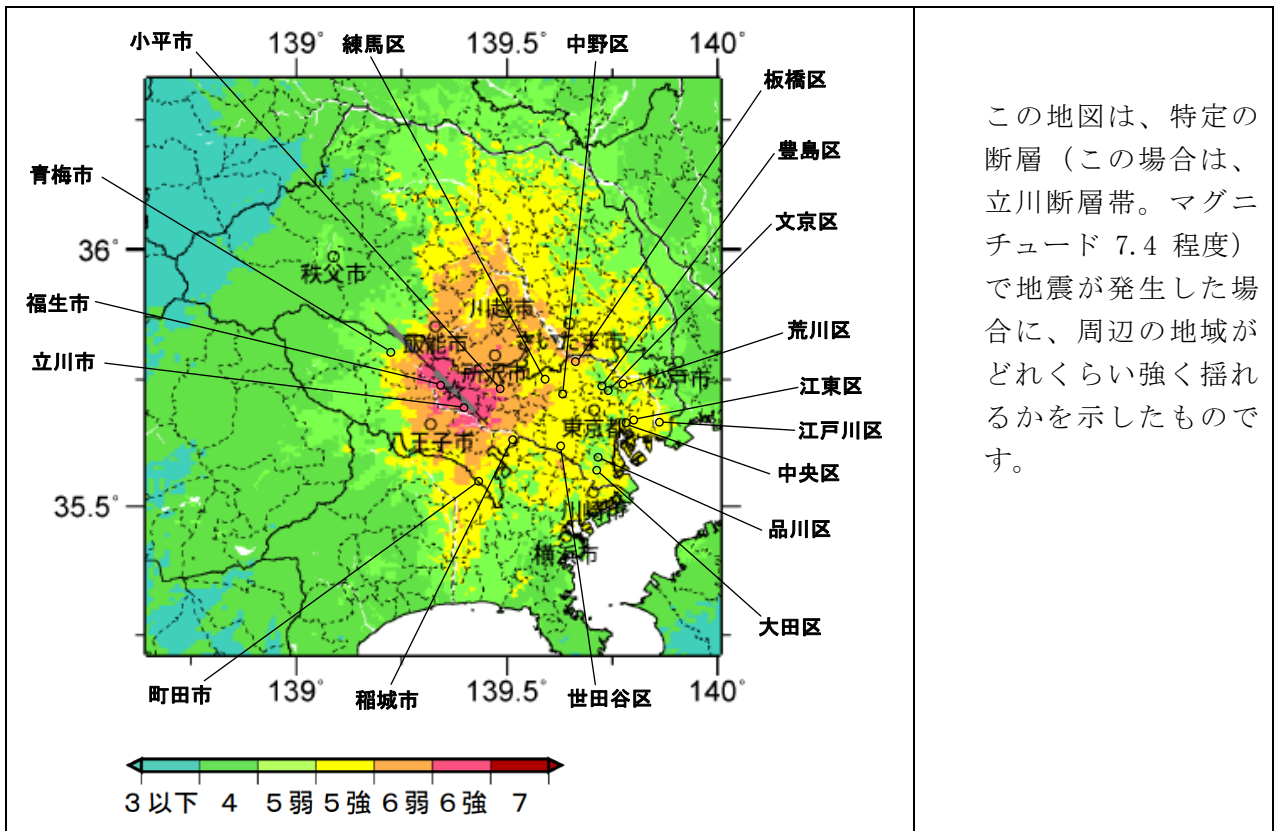
1. 火災や交通事故の発生確率と比較してあるので、地震の危険度がよくわかる
2. ポスターにカレンダーをつけてあるので、家の中の目立つところに貼ってもらえそうで良い
3. 確率の数値はよくわからないので、数値はなくして確率が高いか低いかを表す色の区別だけを示せばよい
4. 図が大まかで自分の住んでいるところの危険性がよくわからない
5. 確率が低い(黄色の)ところに住んでいる人は、地震が起きないと安心してしまうのではないか
6. このような地図をできるだけ多くの人に配布して大地震への注意を促す必要がある
7. このような地図は一般の人にはよく理解できないので専門家に配布するだけでよい

問 11-5 近所の人がこの確率論的地震動予測地図を見たら、自分の家の地震防災対策を見直すきっかけになると思いませんか。あてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. ほとんどの人に対してきっかけになる | 4. きっかけになる人はいない |
| 2. 半数くらいの人に対してきっかけになる | 5. その他〔具体的に: 〕 |
| 3. きっかけになる人は少ない | |

政府の地震調査研究推進本部では、主な活断層で地震が発生したときの揺れの強さを予測した地図(これを「震源断層を特定した地震動予測地図」と呼んでいます)を作成しています。例として、お住まいのところから最も距離が近い立川断層帯の地図を下に掲げました。

図3 震源断層を特定した地震動予測地図(立川断層帯)



問 12 あなたは、このような「震源断層を特定した地震動予測地図」をご覧になったことがありますか。あてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 見たことがある	→ 問 12-1 に進んでください
2. 記憶が定かではないがこのような地図を見た気がする	
3. 地図があると聞いたことはあるが、見たことはなかった	→ 問 13 に進んでください
4. 地図を見たことも聞いたこともなかった	

問 12-1 (問 12 で、「1. 見たことがある」、「2. 記憶が定かではないがこのような地図を見た気がする」、または「3. 地図があると聞いたことはあるが、見たことはなかった」と答えた方にお伺いします。) それは、どこでご覧に(お聞きに)になりましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1. テレビ	9. 地震や災害に関する専門書
2. ラジオ	10. 専門家による講演・講座などから
3. 新聞	11. 家族の話
4. 雑誌	12. 友人・知人の話
5. 都道府県や市区町村の広報誌	13. 町内会・自治会、自主防災組織などの人から
6. ポスターやリーフレットなど	14. 消防署や消防団の人から
7. 国や地方自治体のホームページ	15. 学校の授業で
8. その他のホームページ	16. その他 (具体的に: _____)

問 13 (全員お答えください。)あなたは、前ページの「図3 震源断層を特定した地震動予測地図(立川断層帯)」をご覧になって、どのようにお感じになりましたか。

問 13-1 この地震であなたが住んでいる地域で大きな地震被害が出る危険性は(あてはまるものにひとつだけ○をつけてください)

1. 非常に高い	2. 高い	3. 低い	4. 非常に低い
----------	-------	-------	----------

問 13-2 この「震源断層を特定した地震動予測地図」はわかりやすいですか、それともわかりにくいですか。あてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 非常にわかりやすい	3. 少しわかりにくい	→ 付問 わかりにくい理由は何ですか (_____)
2. まあわかりやすい	4. 非常にわかりにくい	

問 13-3 この「震源断層を特定した地震動予測地図」に関しては、以下のような意見があります。あなたのご意見に近いものにいくつでも○をつけてください。

1. 今までは漠然と大地震が来るかもしれないと思っていたが、この地図を見て具体的にイメージが湧くようになった
2. 大きな揺れは来ないようなので安心した
3. 大きな揺れが来るようなので不安になった
4. 強い揺れに襲われる危険があるようなので防災対策をしなければいけないと思った
5. その他 (具体的に: _____)

問 13-4 あなたがお住まいの地域の人がこの「震源断層を特定した地震動予測地図」を見た場合、自宅の地震防災対策を見直すきっかけになるとお考えですか。ひとつだけ○をつけてください。

1. ほとんどの人に対してきっかけになる	4. きっかけになる人はいない
2. 半数くらいの人に対してきっかけになる	5. その他 (具体的に: _____)
3. きっかけになる人は少ない	

政府の地震調査研究推進本部では、海溝型地震や主な活断層についてさまざまな調査を行い、一定期間内(たとえば、30年以内)の発生確率を評価し、これを「地震発生可能性の長期評価」と呼び、公表しています。

問 14 あなたは、以下にあげた(1)～(6)についてどの程度ご存知でしたか。それぞれについて「1.」から「3.」までの3段階でお答えください。

	1. 地震や断層の名称(規模)と発生確率の両方とも知っていた	2. 地震や断層の名称(規模)は知っていたが、発生確率は知らなかった	3. まったく知らなかった
(1) 宮城県沖地震(M7.5前後)が30年以内に発生する確率は99%	1.	2.	3.
(2) 大正型関東地震(M7.9程度)が30年以内に発生する確率はほぼ0～1%	1.	2.	3.
(3) 東海地震(M8程度)が30年以内に発生する確率は87%	1.	2.	3.
(4) 東南海地震(M8.1前後)が30年以内に発生する確率は60%～70%	1.	2.	3.
(5) 南海地震(M8.4前後)が30年以内に発生する確率は60%程度	1.	2.	3.
(6) 立川断層帯で地震(M7.4程度)が30年以内に発生する確率は0.5%～2%	1.	2.	3.

問 14-1 あなたは、以下にあげた活断層についてご存知でしたか。ご存知だったものに○をつけてください。

1. 立川断層帯	2. その他	(具体的に：)

問 15 海溝型の地震や約 110 ある主な活断層の地震に関して、30年以内の発生確率(地震発生可能性の長期評価)が発表されていることを、あなたはご存知でしたか(あてはまるものにひとつだけ○)。

1. 知っていた	4. まったく知らなかった
2. そんなにたくさん長期評価されているとは知らなかった	↳ 問 17 に進んでください
3. もっとたくさん長期評価されていると思っていた	

問 16 あなたは、「地震発生可能性の長期評価」をどこから知りましたか(あてはまるものにいくつでも○)。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. テレビ | 9. 地震や災害に関する専門書 |
| 2. ラジオ | 10. 専門家による講演・講座などから |
| 3. 新聞 | 11. 家族の話 |
| 4. 雑誌 | 12. 友人・知人の話 |
| 5. 都道府県や市区町村の広報誌 | 13. 町内会・自治会、自主防災組織などの人から |
| 6. ポスターやリーフレットなど | 14. 消防署や消防団の人から |
| 7. 国や地方自治体のホームページ | 15. 学校の授業で |
| 8. その他のホームページ | 16. その他 (具体的に：) |

問 17 (全員お答えください。前ページの間 14 の地震発生可能性の長期評価をご覧になってお答えください。) あなたは、これをご覧になって、どのようにお感じになりましたか。

問 17-1 あなたが住んでいる地域で大きな地震被害が出る危険性は(あてはまるものにひとつだけ○)。

- | | | | |
|----------|-------|-------|----------|
| 1. 非常に高い | 2. 高い | 3. 低い | 4. 非常に低い |
|----------|-------|-------|----------|

問 17-2 あなたが住んでいる地域で大地震が発生する切迫性は(あてはまるものにひとつだけ○)。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 非常に切迫している | 3. あまり切迫していない |
| 2. 切迫している | 4. まったく切迫していない |

問 17-3 この地震発生可能性の長期評価はわかりやすいですか、それともわかりにくいですか。あてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------------------|
| 1. 非常にわかりやすい | 3. 少しわかりにくい | 付問 わかりにくい理由は何ですか
() |
| 2. まあわかりやすい | 4. 非常にわかりにくい | |

問 17-4 この地震発生可能性の長期評価に関しては、以下のような意見があります。あなたのご意見に近いものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 今までは漠然と大地震が来るかもしれないと思っていたが、これを知ってさらに不安になった |
| 2. 大地震発生の確率は低いようなので安心した |
| 3. 大地震はいつどこで起きるかわからないので、確率は関係ない |
| 4. 強い揺れに襲われる危険があるようなので、防災対策をしなければいけないと思った |
| 5. その他 (具体的に：) |

問 17-5 あなたがお住まいの地域の人がこの地震発生の長期評価を知ったら、自宅の地震防災対策を見直すきっかけになると思いますか。ひとつだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. ほとんどの人に対してきっかけになる | 4. きっかけになる人はいない |
| 2. 半数くらいの人に対してきっかけになる | 5. その他 (具体的に：) |
| 3. きっかけになる人は少ない | |

問 18 あなたご自身は、実際に「確率論的地震動予測地図」や「震源断層を特定した地震動予測地図」、「地震発生可能性の長期評価」をご覧になって、どのようにお感じになりましたか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。

1. わが家の防災対策をもう一度見直さないといけない
2. やっぱり地震は来ると思って準備しなければならない
3. 家族で防災について話し合わないといけない
4. 自分の家は耐震性がある建物にしなければいけない
5. 電気や水道、ガスなどが止まったときの対応を考えなければいけない
6. 非常持ち出し品の準備をしておかないといけない
7. 家具や冷蔵庫などの転倒防止をしておかないといけない
8. 防災訓練に参加した方がよい
9. 地震防災マップをよく見ておかなければいけない
10. これらの地図や長期評価は、専門的過ぎて理解するのが難しい
11. これらの地図や長期評価を知っても、地震対策には結びつかない
12. 自分たちは地震の発生確率が高い地域に住んでいると常に意識する必要がある
13. その他（具体的に： _____)

問 19 実際に「確率論的地震動予測地図」や「震源断層を特定した地震動予測地図」、「地震発生可能性の長期評価」をご覧になったことがきっかけになって、お宅では何か地震防災対策を始めましたか。あるいは、これから始めるつもりですか。あてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. すでに地震防災対策を始めている（具体的には： _____)
2. これから始めるつもりだ（具体的には： _____)
3. 今のところするつもりはない

問 20 このアンケート調査をご覧になって（お渡ししたポスターやリーフレットも含め）、あなたがもっと知りたいと思ったことは何でしょうか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。

1. 地震の「震度」と「マグニチュード」の違い
2. 震度 6 弱以上の揺れはどれくらいか
3. 活断層とは何か
4. 海溝型地震とは何か
5. 津波と高波の違い
6. 長周期地震動とは何か
7. 緊急地震速報とは何か
8. マグニチュード 8 クラスの海溝型地震が起きる間隔は、100～200 年のことが多いこと
9. 同じ活断層が地震をくり返す間隔は、短いものでも 1,000 年くらいであること
10. 火災や交通事故などの身近な危険にあう確率と地震発生の確率との比較について
11. あなたがお住まいになっている地域での大きな地震の発生確率について
12. その他（具体的に： _____)
13. もっと知りたいと思ったことはない

問 21 あなたは、それらの情報(もっと知りたいと思った情報)をどのように知らせてもらえると良いとお考えですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. ポスターやリーフレットを作成して、できるだけ多くの人に配布する |
| 2. ポスターやリーフレットを作成して、希望する人だけにのみ配布する |
| 3. インターネットのホームページを通じて |
| 4. テレビを通じて |
| 5. ラジオを通じて |
| 6. 新聞を通して |
| 7. 都道府県や市区町村の広報誌を通して |
| 8. 地震や災害に関する雑誌や専門書から |
| 9. 専門家による講演・講座などから |
| 10. 町内会・自治会、自主防災組織の人を通じて |
| 11. 消防署や消防団の人を通じて |
| 12. 学校の授業で |
| 13. その他(具体的に: _____) |

問 22 あなたは、お渡ししたポスターを掲示するとしたら、どこが良いと思いますか。よいと思うところにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|----------------|-----------------|
| 1. 都道府県や市区町村の庁舎内 | 5. 小・中・高等学校、大学 | 9. 大型スーパー・量販店など |
| 2. 町内会・自治会の掲示板 | 6. 図書館 | 10. その他 |
| 3. 公民館やコミュニティセンター | 7. 地震防災センターなど | [_____] |
| 4. 消防署や消防団の建物内 | 8. ビルの防災センター | |

次に、政府(国)の機関である「地震調査研究推進本部(略称:地震本部)」についてお伺いします。地震本部では、これまでご覧になられた「確率論的地震動予測地図」(図 1、図2)や「震源断層を特定した地震動予測地図」(図3)、「地震発生可能性の長期評価」(問 14)などを作成し、公表しています。

問 23 あなたは、政府(国)の中にある「地震調査研究推進本部(略称:地震本部)」という組織について知っていましたか。

問 23-1 名称について(あてはまるものにひとつだけ○をつけてください)。

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 正式名称か略称のどちらかを知っていた | 3. あまり知らなかった |
| 2. 名称はよくわからないが組織があることは知っていた | 4. まったく知らなかった |

問 23-2 活動内容について(あてはまるものにひとつだけ○をつけてください)。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 活動内容をよく知っていた | 3. あまり知らなかった |
| 2. 活動していることは知っていた | 4. まったく知らなかった |

問 24 今後、政府(国)はどのような地震調査研究に積極的に取り組んでいくべきだと思いますか。以下の中で、積極的に取り組んだ方がよいと思われるものにいくつでも○をつけてください。

1. 海溝型地震について、もっと詳しく調べること
2. 活断層について、もっと詳しく調べること
3. 緊急地震速報をさらに迅速にするための技術開発を行うこと
4. 津波の襲来について、迅速・正確に予測できる技術開発を行うこと
5. 津波の全国ハザードマップを作成すること
6. 世界で発生する地震災害の被害軽減や救援にもっと貢献すること
7. 地震の発生メカニズムを把握するための調査を充実すること
8. 国民に地震に関連する情報をわかりやすく提供すること
9. 地震の調査研究の広報活動を幅広く行うこと
10. 地震調査研究に携わる人材を育成すること
11. その他 (具体的に: _____)
12. 上にあげた中では、特に積極的に取り組むべきことはない

問 25 このアンケートや政府の地震調査研究等に関して、ご意見やご希望があれば、下の空欄にご自由にお書きください。

最後に、あなたご自身のことについて、お聞きします。

F1. あなたの性別(ひとつだけ○)。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F2. あなたの年代(ひとつだけ○)。

- | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 | 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 | 7. 70 歳以上 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|

F3. あなたのご職業は次のどれに当たりますか。2つ以上ある場合は、主な方にひとつだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------------|---------------|
| 1. 農林漁業職 | 6. 生産・輸送・建設・労務職 | 11. 家族従事者 |
| 2. 自営業 | 7. 販売・サービス・保安職 | 12. 学生・生徒 |
| 3. 経営管理職 | 8. 自由業 | 13. 無職・年金生活者 |
| 4. 専門・技術職 | 9. 専業主婦 | 14. その他 |
| 5. 事務職 | 10. パートの主婦 | (具体的に: _____) |

F4. あなたが最後に在籍した学校、または現在在学中の学校は以下のどれですか(ただし、各種学校・専門学校は除きます。ひとつだけ○)。

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. 中学校 | 4. 大学 |
| 2. 高校 (旧制中学校、師範学校、女学校を含む) | 5. 大学院 |
| 3. 短大・高専 (旧制高校を含む) | 6. 答えたくない |

F5. あなたは、現在のお住まいの地域(市区町村)に来てから何年になりますか(ひとつだけ○)。

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1. 5年未満 | 3. 10年以上 20年未満 | 5. 30年以上 |
| 2. 5年以上 10年未満 | 4. 20年以上 30年未満 | |

F6. あなたご自身が地域の防災リーダーとして活動することについて、どのようにお考えですか(ひとつだけ○)。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 現在、すでに地域の防災リーダーとして活動している |
| 2. 地域の防災リーダーになって活動してみたい |
| 3. 頼まれれば、地域の防災リーダーになってもよい |
| 4. 仕事や家事等が忙しくて防災リーダーにはなれない |
| 5. いざという時に活動できないので、地域の防災リーダーにはなれない |
| 6. よくわからない |

F7. あなたが同居されているご家族は、あなたを含めて何人ですか(ひとつだけ○)。

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人 | 6. 6人以上 |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------|

F8. あなたがお住まいの家は、いつ頃建てられたものですか。増改築されている場合には、主な部分の建築年をお答えください(ひとつだけ○)。

- | | | |
|--------------------|-------------------------|----------|
| 1. 昭和 34 年以前 | 3. 昭和 57 年～平成 6 年 | 5. わからない |
| 2. 昭和 35 年～昭和 56 年 | 4. 平成 7 年 (阪神・淡路大震災) 以降 | |

F9. あなたがお住まいの住宅の所有形態は次のどれにあたりますか(ひとつだけ○)。

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 持ち家 (一戸建) | 5. 社宅等 |
| 2. 持ち家 (マンションなどの集合住宅) | 6. その他 () |
| 3. 賃貸住宅 (一戸建) | |
| 4. 賃貸住宅 (マンションなどの集合住宅) | |

F10. あなたご自身は、これまでに大きな自然災害(地震や風水害、火山噴火等)で被害を受けたことがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 地震の被害を受けたことがある |
| 2. 洪水等の風水害の被害を受けたことがある |
| 3. その他の自然災害で被害を受けたことがある (具体的に:) |
| 4. 自然災害で被害を受けたことがない |

<ご協力いただきまして、ありがとうございました。>